

## 第2次おおい町未来創生戦略 事業内部評価シート

4-①	<b>課 名</b>	建設課
-----	------------	-----

<b>戦略分類</b>	4. 活力生活		
<b>取組の方向</b>	移住・定住の促進に向けたおおいの住まい支援		
<b>戦略事業名</b>	①おおいの空き家は良い空き家！どんどん使って！事業		
<b>予算事業名</b>	空き家等対策事業		
<b>令和3年度実績額</b>	3,222,000円	<b>令和4年度予算額(6月補正後)</b>	4,750,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
<b>事業の概要(実績)</b>	<p>空き家等に関する対策を総合的、計画的に実施するため、空き家等対策の推進に関する条例、同規則および空き家等対策協議会規則が令和2年4月1日に施行された。条例・空き家等対策計画に基づき、空き家の支援事業(診断・解体・活用)を創設し運用を図った。</p> <p>啓発事業としては、条例施行と適切な管理に関する啓発リーフレットの配布、空き家支援事業のリーフレットの作成、配布を実施するとともに、空き家無料相談会を3月に開催した。</p> <p>空き家情報バンクを運用し、登録物件を町ホームページで紹介した。</p>	<p>空き家の支援事業(診断・解体・活用)の運用並びに制度の啓発、空き家無料相談会の開催、空き家情報バンクの運用等、空き家等に関する対策を実施した。</p>	<p>空き家の支援事業(診断・解体・活用)の運用並びに制度の啓発、空き家無料相談会の開催、空き家情報バンクの運用等、空き家等に関する対策を継続して実施していく。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div>		

### 評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	助成件数			現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	—		令和3年度末	累計9件	
	目標値 (令和6年度末)	累計15件	⇒			60.0

<b>① 数値目標達成状況</b>	<b>おおむね達成</b>
<b>達成状況の要因分析</b>	<p>令和3年度は5件を助成しており、年度目標の3件を達成している。</p> <p>空き家支援事業のリーフレットについては町内全戸に配布を行い、その後、事業に関する問合せは寄せられたが、事業を利用し、空き家の除却等を実施する方は少数であった。解体費用等、様々な要因が考えられる。</p>
<b>新たな目標の考え方</b>	—

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)

ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針

平成30年度に実施した空家実態調査の空き家の内Dランク(倒壊の可能性があるなど、現況のままの利用は困難な物件)の空き家は、町内で17件登録されているが、支援事業(解体)の利用も含め、6件が除却された。  
解体費用等の課題があるが、空き家の問題は所有者や管理者のみならず、近隣住民や地域社会全体に影響を与える課題であることを認識してもらうなど、引き続き啓発事業を継続していくとともに、特に老朽度の高い空き家所有者等に対する意識の高揚を図っていく。

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

④ 事業成果

空き家の支援事業(診断・解体・活用)の運用を図った。また、空き家等支援事業を今後も活用し、老朽空家等の除却等、空き家対策を進めていく。また、空き家情報バンクについては所有者と購入者のマッチングの入り口として引き続き運用を行っていく。

内部評価結果

年度目標を達成しており、KPIの達成に向けて順調。今後も、特にDランクの空き家の除却や適切な管理について、所有者や管理者に粘り強く理解を求めていくことが重要

## 第2次おおい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	4-②	課名	建設課
------	-----	----	-----

戦略分類	4. 活力生活		
取組の方向	移住・定住の促進に向けたおおいの住まい支援		
戦略事業名	②住宅取得等支援事業		
予算事業名	おおいの住まい支援事業		
令和3年度実績額	14,367,000円	令和4年度予算額(6月補正後)	13,950,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
事業の概要(実績)	<p>県産材を利用した新築・リフォーム、U・Iターン者が行う新築・リフォーム、分譲地購入者が行う新築、多世帯で同居・近居するために新築・リフォーム等を行う経費の一部を助成する。</p>	<p>県産材を利用した新築・リフォーム、移住者、新婚、子育て世代が行う新築、空き家購入、リフォーム、分譲地購入者が行う新築、多世帯で同居・近居するために新築・リフォーム等を行う経費の一部を助成する。</p>	<p>県産材を利用した新築・リフォーム、移住者、新婚、子育て世代が行う新築、空き家購入、リフォーム、分譲地購入者が行う新築、多世帯で同居・近居するために新築・リフォーム等を行う経費の一部を助成する。</p>
			

### 評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	助成件数			現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成30年度)	累計65件		令和3年度末	132件	
	目標値(令和6年度末)	累計150件	⇒	令和3年度末	132件	88.0

① 数値目標達成状況					おおむね達成
達成状況の要因分析	<p>大飯地区における新規住宅の取得等が増加しており、目標達成に向けて順調。住宅取得は、申請者の費用負担(建築費用や購入費用)が大きく、支援制度についての問い合わせが年度初めと年度末に多数ある。</p>				
新たな目標の考え方	—				

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)

ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針

町ホームページ上で、全メニューを一覧にしたページを作成し、使える制度が一目で確認できるように公開しており、コロナ禍の影響もあり、町のHP閲覧からの問い合わせが多数を占めている。R3年度以降、町土地開発公社の石山分譲地や民間事業者が町内数カ所で分譲を行っているの  
で、それらの団体と連携し、事業の活用を進めていく。

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

--

④ 事業成果

おおい町の住宅支援制度を広く周知することができ、おおい町への定住を考えている方の検討材料とすることができた。

内部評価結果

KPIの達成に向けて順調。今後も、HP等を活用して、町内外の方に分かりやすい情報を提供していくことが重要

## 第2次おおい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	4-③	課名	建設課
戦略分類	4. 活力生活		
取組の方向	移住・定住の促進に向けたおおいの住まい支援		
戦略事業名	③宅地造成事業		
予算事業名	住宅用地造成事業		
令和3年度実績額	15,066,800円	令和4年度予算額(6月補正後)	0円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
事業の概要(実績)	<<町事業> 佐分利地区において新たに宅地分譲地の整備を行い、定住化の促進を図ることとした。 【事業内容】 ・宅地分譲地造成工事の実施 4区画 A=1,483.89m <sup>2</sup> (道路等含む) ※次年度へ繰越し工事等実施  <<おおい町土地開発公社事業> おおい町土地開発公社において、各分譲地の販売促進を実施。 ●南浦宅地(住宅地) ●三重宅地(住宅地) [その他分譲地]・成和宅地(商業地) ・小倉畑宅地(住宅地) ・三重宅地【星美台】(住宅地)  ※R2年度分譲実績: 4件売却(三重) (買戻し4件)	<<町事業> R2年度からの繰越し工事の完成 (宅地分譲地造成工事)  <<おおい町土地開発公社事業> おおい町土地開発公社において、各分譲地の販売促進を実施。 ●南浦宅地(住宅地) ●三重宅地(住宅地) [その他分譲地] ・成和宅地(商業地) ・小倉畑宅地(住宅地) ・三重宅地【星美台】(住宅地) ・石山分譲地(住宅地)  ※R3年度分譲実績: 4件売却 (三重、南浦、星見台、石山 各1区画)	<<町事業> 予算事業 無  <<おおい町土地開発公社事業> おおい町土地開発公社において、各分譲地の販売促進を行う。 ●南浦宅地(住宅地) ●三重宅地(住宅地) [その他分譲地] ・成和宅地(商業地) ・小倉畑宅地(住宅地) ・石山分譲地(住宅地)
	石山分譲地整備 (4区画) ①270.19m <sup>2</sup> ②269.89m <sup>2</sup> ③271.46m <sup>2</sup> ④268.27m <sup>2</sup>  チラシB4版 15,000枚制作 ・新聞折込(高浜町~若狭町(上中)エリア)  <<各分譲地の状況> 南浦分譲地 全区画数20区画 8区画売却済 三重分譲地 全区画数18区画 11区画売却済  (石山分譲地 全区画数4区画 1区画売却済) (三重(星見台) 分譲地 1区画売却済)		

### 評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	売却数			現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成30年度)	累計17件		令和3年度末	21件	
	目標値(令和6年度末)	累計31件	⇒			67.7%

① 数値目標達成状況 現状では達成が難しい




達成状況の要因分析	立地条件等があまりよくないため昨年度まで伸び悩んでいたものの、令和3年度は4件が売却されており、目標については据え置くこととする。
新たな目標の考え方	—

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)	
<p>ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針</p>	<p>ホームページやチラシ等の広報媒体を活用した積極的なPRや適切な維持管理を行い、全区画の完売を目指していきたい。</p>
③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映	
<p></p>	
④ 事業成果	
<p>令和3年度末までに、若い世帯を中心に南浦地区宅地分譲地で1区画、三重地区宅地分譲地で1区画、その他の宅地分譲地で2区画が売却となり、移住定住の促進と町有地の有効利用が図られている。</p>	
内部評価結果	
<p>実績が目標値を下回っているが、昨年度まで伸び悩んでいたものの、令和3年度は4件が売却されておりKPIは維持する。全区画の完売に向けて、U・Iターン希望者などをターゲットに積極的なPRを行っていくことが重要</p>	

## 第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	4-④	課名	すこやか健康課
------	-----	----	---------

戦略分類	4. 活力生活		
取組の方向	積極的な活動展開による「若さ」いきいき生活の実現		
戦略事業名	④健康づくり事業		
予算事業名	健康プログラム事業・(国保)健康づくり推進事業		
令和3年度実績額	5,508,512円	令和4年度予算額(6月補正後)	5,644,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
事業の概要(実績)	<p>10月より2次生(50名)が加わり、1次生(令和元年10月～)と合わせて100名が事業に取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画を活用したセミナーを行った。参加者は、各自の携帯やパソコンで運動や食生活に関する動画を閲覧した。</p> <p>また、バーチャルウォーキングラリーやからだ測定会を開催した。</p>	<p>令和3年9月末で、1次生が2年間のプログラムを修了となるため、修了セミナーを開催し、2年間の取り組みの振り返りや、表彰、取り組み継続への意識付けを目的としたセミナーを開催した。</p> <p>また、新たに50名の3次生を募集し、10月から事業を開始した。</p> <p>バーチャルウォーキングラリーや、サポートセミナーの開催に加え、新たに自分の取り組み状況が把握でき、取組に応じたアドバイスが記載された「アドバイスシート」を毎月送付した。さらに、町民向けのセミナーを開催した。</p>	<p>引き続き、プログラム参加者に対し、取組に応じたポイントの付与、アドバイスシートの送付、バーチャルウォーキングラリー、セミナーの開催等で、運動習慣の継続と定着化を支援する。</p> <p>参加者以外の広く一般町民へも運動習慣の習得、継続への意識付けを行うため、参加者の歩数、体組成の変化やアンケートの分析結果等のデータを公表・発信、また町民向けのセミナーを開催する。</p>
	 <p style="text-align: center;">オンラインセミナー</p>	 <p style="text-align: center;">アドバイスシート</p>	

### 評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	健康寿命			現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成30年度)	男性 79.15歳 女性 84.66歳		令和3年度末	男性 79.47歳 女性 84.05歳	
	目標値(令和6年度末)	男性 79.20歳 女性 85.10歳	⇒			男性 100.3% 女性 98.8%

① 数値目標達成状況		おおむね達成
達成状況の要因分析	<p>標準化医療費において、本町は県平均に比べ筋骨格系の疾患の比率が男女ともに高くなっている。こうした筋骨格系疾患の予防には、健康なうちに日常的に適度な運動を継続することが重要であり、介護費や医療費の削減や健康寿命の延伸に大いに有効であると考えられる。</p> <p>ウォーキングは、年齢性別を問わず運動習慣がない方でも気軽に取り組み、筋力低下予防、生活習慣病予防、脳の活性化等メリットが大きい。今後引き続きウォーキングによる健康づくりの支援を行うとともに、事業参加者に限らず広く町民への情報発信を行いたい。</p>	
新たな目標の考え方	—	




② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)	
<p>ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針</p>	<p>バーチャルウォーキングラリーでは、歩数に応じて画面上の景色が変化し、またランキングが表示されることにより、自分や、仲間の取り組み状況が確認でき、コロナ禍で参加者同士が顔を合わす機会が少ない状況であってもウォーキング継続のモチベーションの維持に大変有効であった。</p> <p>また、年間合計4回開催したセミナーは、感染予防対策としてすべてオンライン(参加者は会場に集合し、会場と講師をオンラインで繋ぐ形式)で開催した。うち1回は、講師(東京)と保健福祉センターなごみ(本郷)、あつとほ～むいきいき館(名田庄)の多拠点接続で開催した。以前は、セミナーの動画を配信し、各自の携帯やパソコンで閲覧をする方法で開催したが、オンラインセミナーは日時が限定されるものの、講師と参加者との双方のやり取りや、講師に直接質問ができる等、対面でのセミナーと大きな違いがなく、最寄りの会場で気軽に参加できるメリットがあった。</p>
③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映	
<p>バーチャルウォーキングラリーの開催、感染予防対策を徹底した上でのオンラインセミナーの開催等、コロナ禍であっても運動継続へのモチベーションを維持できる取り組みを行った。</p>	
④ 事業成果	
<p>令和3年10月から取り組みをスタートさせた3次生において、事業開始1か月後には平均歩数が829歩増加し、国推奨歩数である8000歩を達成した。また、活動量が減少しやすい冬場(12月～2月)においても、国推奨歩数達成者割合は53%以上を維持していたことから、活動量の増加を意識して取り組んでいたことがうかがえる。参加者(100名)のほとんどの人がデータ送信を定期的実施しており測定と記録の確認が習慣化した。</p> <p>アンケート調査より、事業に対する評価は、「大変満足」「やや満足」の回答の合計で得、97.6%と非常に高い満足度であった。</p> <p>また、比較できるデータが少ない中ではあるが、肥満(BMI25以上)の人のBMI低下傾向、血圧が高めの人の改善傾向がみられた。</p>	
内部評価結果	
<p>・KPIの達成に向けて順調であり、アンケート結果等からもこの事業が町民の運動習慣定着につながっていると評価できる。</p> <p>・引き続き健康づくりの支援を行うとともに、参加者のみならず、広く町民に対して健康寿命の増進にかかる情報を発信していくことが重要</p>	



## 第2次おおい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	4-④	課名	すこやか健康課
------	-----	----	---------

戦略分類	4. 活力生活		
取組の方向	積極的な活動展開による「若さ」いきいき生活の実現		
戦略事業名	④健康づくり事業		
予算事業名	健康増進事業・(国保)保健福祉支援センター運営事業		
令和3年度実績額	187,000円	令和4年度予算額(6月補正後)	209,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
事業の概要(実績)	<p>「ノルディックウォーキング教室」は、年3回の実施を予定していたが、うち2回はコロナの影響により中止した。3月に実施した教室では、講師より歩き方の指導を受けたあと、「健康ロードいきいきコース」を通る約3kmを歩いた。</p> <p>また、代替事業として新たに開催した「足の健康教室」では、足に関する測定(足裏バランス、足指力)と、正しいウォーキングフォームを学ぶ教室を開催した。</p> <p>自宅でできるストレッチや筋トレを学ぶ教室「OOI(おおい)★100日チャレンジ」は、3回シリーズで大飯、名田庄で開催した。</p>	<p>引き続き、運動習慣の定着を目的として、「ノルディックウォーキング教室」「足の健康教室」「OOI★100日チャレンジ」を実施した。</p> <p>また、新たにノルディックウォーキングのポールの貸し出しを随時行い、教室以外でも気軽にノルディックウォーキングが体験・実践できる機会を設けた。</p>	<p>「足の健康教室」を、新たに自身の体の状態(柔軟性、バランス、筋肉量等)を評価し、専門職より維持・改善のためのアドバイスが受けられる「からだ測定会(仮)」として内容を充実させて開催する。</p> <p>また、効果的なウォーキングの正しいフォームを身に付けるための「ウォーキング教室(仮)」を開催する。</p> <p>「OOI★100日チャレンジ」は、自身の体力のレベルに応じた運動やきめ細やかな指導が受けられるよう内容を充実させ実施予定。</p>
	 <p>「OOI★100日チャレンジ」</p>	 <p>ノルディックウォーキング教室</p>	 <p>足の健康教室</p>

評価(Check)							
成果を測る指標(KPI・数値目標)	健康寿命		⇒	現 状		KPI達成率(%)	
	基準値 (平成30年度)	男性79.15歳 女性84.66歳		令和3年度末	男性 79.47歳 女性 84.05歳		男性 100.3% 女性 98.8%
	目標値 (令和6年度末)	男性79.20歳 女性85.10歳					

① 数値目標達成状況		おおむね達成
達成状況の要因分析	<p>標準化医療費において、本町は県平均に比べ筋骨格系の疾患の比率が男女とも高くなっている。こうした筋骨格系疾患の予防には、健康なうちに日常的に適度な運動を継続することが重要であり、介護費や医療費の削減や健康寿命の延伸に大いに有効であると考えられる。</p>	
新たな目標の考え方	—	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)

ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針

ウォーキングやストレッチ、筋トレなどの運動による効果はすぐには現れず、継続して実践することが重要である。教室の内容やポイントを振り返り、実践・継続できるよう支援が必要である。  
また、体力や柔軟性は個人差が大きいため、個人に応じた指導が必要である。まずは自身の体の状態(柔軟性、バランス、筋肉量等)を評価し、その評価や体力に応じた運動の提案や、専門職からのアドバイスを受けられるよう、教室の内容を充実させる。

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

コロナ禍で、外出の機会が減る一方で、健康づくりや運動への関心が高まっている。教室以外でも気軽にノルディックウォーキングが体験、実践できるよう、ボールの無料貸出事業を開始し、周知を行った。  
また、自身の身体の状態を振り返るきっかけとなるよう、町内2か所の保健センターに設置してある体組成計の利用についても周知を行った。

④ 事業成果

ノルディックウォーキング教室の参加者は、ボールを使うことで普通のウォーキングよりも歩幅が大きくなることや、上半身の筋肉も使う全身運動が行えることなどを実感されていた。膝や腰の負担が少なく、バランスを崩すことなくウォーキングができると好評であった。一部の参加者は、教室終了後にボールを購入し、継続されている。

内部評価結果

・KPIの達成に向けて順調であり、アンケート結果等からもこの事業が町民の運動習慣定着につながっていると評価できる。  
・引き続き健康づくりの支援を行うとともに、参加者のみならず、広く町民に対して健康寿命の増進にかかる情報を発信していくことが重要

## 第2次おおい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	4-⑤	課名	社会教育課
------	-----	----	-------

戦略分類	4. 活力生活		
取組の方向	積極的な活動展開による「若さ」いきいき生活の実現		
戦略事業名	⑤生涯学習推進事業		
予算事業名	本郷公民館活動事業、佐分利公民館活動事業、大島公民館活動事業、名田庄公民館活動事業、本郷公民館生涯学習推進事業、佐分利公民館生涯学習推進事業、大島公民館生涯学習推進事業、名田庄公民館生涯学習事業		
令和3年度実績額	4,291,898円	令和4年度予算額(6月補正後)	6,725,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
事業の概要(実績)	<p>この事業は、地域における生涯学習の充実や地域課題の解決が求められている公民館を主体にして、生涯にわたる学習の場の提供、および地域づくりの拠点施設として住民活動を支援する。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4月から6月中旬までの各教室や大規模な事業等は開催出来なかったが、それ以降は公民館ごとに住民の学習の場の提供や、生涯学習推進委員と連携し地域の特性を生かした事業を展開していった。</p>	<p>令和3年度においては、新しい生活様式を踏まえ、新型コロナ感染防止対策を考慮しながら、フェイスブックやInstagramなどで各世代に向けて情報発信を行うことができ、少しずつ参加者が増加した。</p> <p>各公民館ごとの生涯学習推進委員との連携により、地域の特性を活かした住民の求める学習の場の提供に心がけ、また他の地域の歴史や文化を知る4館合同事業を実施して、住民の学習の場を設けた。</p>	<p>令和4年度は、令和3年度事業の実績を踏まえながら、新型コロナ感染防止対策の徹底を図り、新たな生活様式に応じた事業内容等検討しながら実施に向けて取り組んでいく。</p> <p>各公民館の合同事業の継続や新たに「パソコン・スマホお悩み相談室」と題した公民館統一事業を開催して、SNSのメリットやリスクを住民に説明し今後のデジタル化社会への対応に向けた取り組みを行う。</p>

### 評価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	教室・講座参加者数			現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	年間延べ6,914人		⇒	令和3年度末	4, 837人
目標値 (令和6年度末)	年間延べ7,300人					

① 数値目標達成状況	現状では達成が難しい
達成状況の要因分析	<p>昨年度と同じく新型コロナ感染防止対策の観点から、公民館教室や行事等はその都度実施可能かの検討を必要としたが、ワクチン接種の進捗に合わせて実施回数は徐々に戻りつつあり、新しい生活様式への対応を含めた事業内容に取り組み、コロナ感染前の状態に近づいており目標は維持する。※令和2年度実績3,935人と比較して約23%参加者が増加</p> <p>今後は、感染対策の徹底を継続しながら、住民の知りたいこと、興味のある事等様々な分野から幅広い学習内容や学習方法を検討して地域の生涯学習教育に取り組んでいく。</p>
新たな目標の考え方	—

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)	
ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針	<p>令和3年度の事業実施により、各公民館でのフェイスブックやインスタグラムを使った情報発信の重要性やYouTubeを使った限定配信の教室形態等、コロナ感染症対策として新たな教室等開催のノウハウを学習してきた。今後は、教室や行事等の実施に向けては、新しい生活様式を取り入れた様々な方法での開催を検討していく。また、コロナ感染症対策としてSNS等の必要性が広く一般に普及していることを考え、SNSの使用を含めたデジタル化時代へ対応していく教室を住民のニーズに答えながら検討していく必要がある。</p> <p>コロナ感染症対策として、長期間自宅で過ごす時期があったことで家族の在り方、住んでいる地域のあり方を再度考える時間が増えた。このような事象を踏まえ、今後の地域拠点となる公民館での活動内容を考えていく必要がある。</p>
③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映	
④ 事業成果	
<p>令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大状況に併せ、従来の開催方法だけでなく、YouTubeを使った限定配信の教室など新しい生活様式を踏まえた開催方法のノウハウを取り入れながら実施することが出来た。</p> <p>また、地域の特性を活かした事業展開をしていく生涯学習推進事業においては、各館とも生涯学習推進委員とともに、地域性がみえる事業をどんどん取り入れて実施することができた。</p> <p>※ 本郷:町歩き、佐分利:「さぶり物語」の発行、大島:野菜づくり教室等、名田庄:おしゃべりフェスタ など</p>	
内部評価結果	
<p>目標の達成には至っていないものの、各公民館が、新しい生活様式を考慮した活動を模索し事業を実施した結果、前年度比の参加者数が伸びており、目標達成が期待ができる状況と考える</p>	

## 第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	4-⑥	課 名	まちづくり課
------	-----	-----	--------

戦略分類	4. 活力生活		
取組の方向	情報通信基盤の整備充実		
戦略事業名	⑥Wi-Fi環境整備事業		
予算事業名	Wi-Fi環境整備事業		
令和3年度実績額	10,582,000円	令和4年度予算額(6月補正後)	1,300,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
事業の概要(実績)	公共施設におけるWiFi環境整備 ・若州一滴文庫 ・フィットネスセンターアクアマリン ・暦会館 ・若狭本郷駅	公共施設におけるWiFi環境整備 ・総合運動公園(野球場) ・総合運動公園(球技場) ・赤礁崎オートキャンプ場 ・頭巾山青少年旅行村 ・八ヶ峰家族旅行村	公共施設におけるWiFi環境整備 ・うみんぴあ大飯マリーナ ・悠久館



### 評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	整備箇所数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	累計14箇所		令和3年度末	23箇所	92.0%
	目標値 (令和6年度末)	累計25箇所				

① 数値目標達成状況		おおむね達成
達成状況の要因分析	WiFi環境整備計画に基づき、WiFi環境整備を進めていったため。	
新たな目標の考え方	—	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)

ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針

これまで培った公共施設へのフリーWiFi環境整備のノウハウを元に、WiFi環境整備計画に基づき、観光施設等のWiFi環境整備を進めていく。

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

④ 事業成果

公共施設にWi-Fi設備(無線アクセスポイント等)を設置しインターネット利用環境を整備することで、災害発生時に携帯電話事業者インフラが被害を受け、スマートフォン等のモバイル端末でインターネットが利用しづらい状況となった時でも、住民や滞在者等が情報収集できる環境を確保した。

また、平常時においても住民等に利用機会を浸透させることで当該Wi-Fiを広く認知し、情報収集手段としての利用率を向上させた。

内部評価結果

災害時の避難所となる公共施設等へのWi-Fi整備を計画的に進めており、KPIの達成に向けて順調

## 第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	4-⑦	課名	まちづくり課
------	-----	----	--------

戦略分類	4. 活力生活		
取組の方向	移住・定住の促進に向けたおい町の住まい支援		
戦略事業名	⑧移住就職等支援事業		
予算事業名	移住・定住・交流会推進事業(移住支援金)		
令和3年度実績額	1,550,000円	令和4年度予算額(6月補正後)	1,600,000円

事業の概要 (実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
			<p>おい町への若い世代の移住定住を目的とし、支援金を交付する。</p> <p>【交付金額】</p> <p>《全国型》</p> <p>(1)単身世帯 Iターン…15万円 Uターン…30万円</p> <p>(2)若年夫婦世帯 Iターン…25万円 Uターン…50万円</p> <p>(3)子育て世帯 Iターン…25万円 Uターン…50万円</p> <p>《東京型》</p> <p>(1)単身世帯…60万円</p> <p>(2)2人以上の世帯…100万円</p>

### 評価(Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	支援による転入件数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (令和2年度)	累計0件		令和3年度末	累計4件	
	目標値 (令和6年度末)	累計8件				

① 数値目標達成状況		おおむね達成
達成状況の要因分析	令和3年度に施行した当制度について、各年度の転入件数を2件と想定。チラシの配布や、広報誌への掲載、転入者への案内文送付等により周知を図ってきたことから、おおむねKPIを達成している。	
新たな目標の考え方	—	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウや今後の方針(成果又は反省から得られた情報や知識など)	
<p>ノウハウの内容・目標達成に向けた今後の活用方針</p>	<p>昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかった移住イベントや、移住相談(状況によってはオンラインを活用)などを実施していく中で、制度を効果的に活用し、移住者の新規獲得を目指す。</p>
③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映	
<p></p>	
④ 事業成果	
<p>4世帯(9名)の若年移住者に対して支援金を交付し、移住者の新規獲得及び定住促進に寄与することができた。</p>	
内部評価結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県の人口統計調査によれば、平成29年10月から令和3年10月の4カ年の社会動態は△7名となっており、それ以前の4カ年と比較すると、人口の社会減の幅は減少しており、おおい町の子育て支援策や町の魅力をPRした効果が一定程度表れているものとする</li> <li>・今後も、移住支援金を含めた支援制度をPRし、移住・定住者の増加につなげていくことが重要</li> </ul>	